

音 ONGAKU

～ 音 で 笑 顔 に ～

例年より梅雨入りが早く、関東地方も5月半ばから梅雨の走りの空模様が続きました。梅雨の雨は稲にとっては大切な水分。雨の日は風情もありますし、雨の音も様々。雨音に耳を傾けながら、どんな雨なのか、雨に濡れた木々や草花はどんな様子かを想像してみるのもいいものですね。

【インタビュー特集②：佐々木香さん】

今回のインタビューは、佐々木香さんです。

特定非営利活動法人 ZERO キッズ理事長。「ZERO キッズ」は、1993年に地域の少年少女合唱団とママさんコーラスを母体として「なかの ZERO 大ホール」の開館記念区民参加事業、親子オペレッタをきっかけに設立されました。2001年に NPO 法人化。そうぞうカ（imagination&creation）をテーマに様々な表現体験や自然体験から異年齢の子どもたちの仲間づくりを進めています。活動の集大成としてのミュージカルは、楽譜や CD となって出版され全国で愛唱されています。2018年10月から中野区江古田でキッズルーム「もりのいえ」の運営を受託。常設の親子の居場所として、また「音あそび」や「赤ちゃんおはなし会」等を開催し、乳幼児親子の子育て支援にも活動を広げています。本 NPO が定期的に活動している「くにポン & アッキーの音の楽校」や「おひさまリトミック」も佐々木さんからのご依頼です。

聞き手：口中常嘉(事務局長) 同席者：池田理事長・斉藤副理事長

口中：池田さんと出会ったきっかけは何ですか？

佐々木：ZERO キッズを始めてから、子どもたちに体験してもらうにはまず自分がやってみなければと思い、中野区教育委員会が主催したレクリエーションリーダー講習会に参加しました。その中に手作り楽器の講座があって国立音楽大学の繁下和雄先生が担当されていました。紙で楽器を作ったりして、これは ZERO キッズの子どもたちにも体験させたいなと思い、繁下先生に講師として来ていただけないかとお願いしたら、「うちの若い(当時の池田理事長)を紹介するよ」とおっしゃったんです。



口中：それはいつ頃ですか？

佐々木：1994年か、95年。それで池田先生の連絡先を教えてもらってお願いしたんです。

口中：では、25年のお付き合いですね。最初、池田さんにお会いした時の印象は？

佐々木：小学校の音楽の先生で、偉ぶってないし、フレンドリーだし、面白い方という印象でした。

池田：僕の方は、どんなことをすればいいんですか？って伺ったら、自由に音で子どもたちと遊んでくださいって。これは面白そうだと思ってその場ですぐにお引き受けしました。

佐々木：ZERO キッズの活動が月2回で、学校五日制も始まったばかりの時ですね。

口中：ZEROキッズの創立は？

佐々木：1994年です。最初は、母体になった少年少女合唱団の先生にお願いしてファミリーコーラスと、幼稚園のえっちゃん先生(今は副園長)と表現遊びというのをやりました。その後、学校五日制の土曜日の休みが増えるのと合わせて、キッズの活動も月4回、毎

週日曜になりました。

池田さんと「音のワークショップ」を始めて2年目に、やるんだったら単発じゃなくて続けてやろうということで「音を探そう、作ろう、遊ぼう」という連続講座にして、小学校から竹をもらって楽器を作って中学校の体育館で音楽会もしましたね。この頃からですよ、斉藤さんにもお手伝いして頂くようになったのは。

斉藤：佐々木さんは子どもたちの表現力を育てるための様々な講座を開設して、それを定期的
に開催されたり、子どもたちのミュージカルをなかの ZERO ホールで公演するなど、
企画力とかアイデアが物凄く豊富な方なんです！

池田：みんなで野川公園にハイキングに行って、シートを敷いた上に寝そべて、アイマスク
を使って自然の音を聴いたり、糸電話で何メートルぐらい通じるかやってみたり。「オ
ーイッ！」っていう声がどれ位遠くまで聴こえるか？というものやりました。

斉藤：距離を測ったら「オーイ！」とか「ドラえもん！」とか言ってもあまり遠くまでは届か
ない。「ヤッホー！」っていうのが一番で200m位届いた。遭難した時「助けて〜！」
なんて言ってもあまり聞こえないことが判明。でも「ヤッホー！」じゃ誰も助けに来て
くれませんか？(笑)何でも良いから、こんなのどうかな？面白そうだよな？というの
を全部やらせてもらったんです。

池田：当時の ZERO キッズは幼稚園児から中学生位まで幅広い年齢層の子どもたちが参加し
ていて、時にはお年寄りが参加することもありました。そこで、全部、何をやってもい
いよと言われていたので、子どもたちだけでなくスタッフもお年寄りもみんな一緒に音
を楽しむ即興アンサンブルをやったんです。これがとても楽しかった！ああ、音を楽し
むっていうのは、年齢に関係なく誰とでも一緒に活動出来るんだと、改めて実感・確認
させてもらったのがこの ZERO キッズだったんです。

斉藤：こんなに自由に活動させてもらえるところは他に無いね！

佐々木：池田さんと出会ったことで音楽観の転換というか、意識の転換というか、目からウロコ
の体験でした。ZERO キッズは表現遊びと池田さんの音遊びの二つが土台になってい
ると思います！音楽は誰でもできる、楽しめる。楽器が弾けなきゃいけないとか、歌が綺
麗に歌えなきゃいけないとかではないという。

口中：私も、初めて民音(民主音楽協会)で池田さんと斉藤さんの講習会をやらせてもらった時
に感じました。今までのクラシックの概念というか、まず楽譜があって、楽器があって、
作曲家の思いをいかに忠実に再現するかということばかり考えていたのが、全然違う。
もう目からウロコ！という感じでしたね。驚きました。それから、全国、北は北海道か
ら九州・沖縄まで、この講習会をやらせてもらいました。

池田：その意味では、僕たちは ZERO キッズの佐々木さんと民音さんに育てられました。本
当にありがたいことです！

口中：佐々木さんから見て、今後に期待することは？

佐々木：今のまま楽しく自由にやっていただければそれで十分です。

斉藤：今、ここ江古田の杜で新しく私なりの親子リトミック教室をやらせてもらっているん
です。くにポン(池田)は国立音大のリトミック専攻だけど私はただ音楽に合わせて踊ったり
笑ったりするのが好きだけ。でも、お母さんと乳幼児を相手に始めさせてもらって、
ここは楽しい！行けるぞ！という感じです。

佐々木：最初は、赤ちゃんが対象だとどうなるのかな、という感じでしたけれど、とにかくお母
さん方がみんな笑顔になってとても評判がいいんです。



「おひさまリトミック」 (写真提供もりのいえ)

が苦手”って変だと思いませんか？実はこういった意識は学校の音楽の授業で植え付けられてしまうケースが多いんです。僕はそれを転換していきたい。

佐々木：だからこそ先ほども言った、「音楽は誰でもできる、楽しめる。楽器が弾けなきゃいけないとか歌が綺麗に歌えなきゃいけないとかではない、くにポン達の“音の楽校”をやってもらっているんですよ。

口 中：日頃より私達 NPO の活動に場を提供くださっていることに感謝いたします。今日はお時間を頂き有り難うございました。今後とも宜しくお願いいたします！

このインタビューの後、厚生労働省とスポーツ庁が主催する「第9回健康寿命をのばそう！アワード」が発表され、＜母子保健分野＞で「NPO 法人 ZERO キッズ」が参加98件のなかで最優秀賞を受賞されました。中野区・江古田の杜のマンション群と地域をつなぐ多世代交流事業の成果が認められた成果です。受賞、おめでとうございます！

手作り楽器紹介 【輪ゴム楽器 [レギオン]】

子供の頃に、ティッシュペーパーなどの空箱に輪ゴムを張った「輪ゴムギター」をつくった経験はありませんか？今回紹介する[レギオン]は子供だけでなく、乳幼児からお年寄りまで、全ての年代で楽しめる新感覚の輪ゴム楽器です。

用意する物は発泡スチロール容器と輪ゴム。輪ゴムの振動を伝えやすいのは何ととっても発泡スチロール容器なんです。手に入りやすいのは食品トレーなのですが、白色のトレーよりも写真のような艶色のトレーの方が固くて振動を良く伝えるのでお勧めです。そしてトレーは大きければ大きいほど弾いた時の余韻が長く響きます。

さあ、艶ありで大きめトレーに輪ゴムを2～3cmづつ間隔を空けて張って音を聴いてみましょう！間隔を空ける理由は、レギオンはギターのようにかき鳴らすのではなく、輪ゴムを一本ずつ弾いて音を楽しむ楽器だからです。そして音を楽しむ際は耳を近づけて、トレー全体に響く輪ゴムの振動に耳を傾けて下さい。そこには子供の頃に遊んだ輪ゴムギターとは全く別の音の世界が広がっているはずですよ。

輪ゴムを張る強さをいろいろ変えて、自分だけのONGAKUをお楽しみ下さい！

斉 藤：お子さんが生後4ヶ月の時から参加されているお母さんから「ここでやるようになってから、家でも音楽を流すとそれに合わせて体を動かすようになったんですよ！」と嬉しい報告を受けました。自分の体の中から湧き出てくる動き、私のリトミックがその表現を出来るようになったきっかけになったとしたら嬉しい限りです。

池 田：大学の講義で学生に「音楽の苦手な人は？」と聞くと、必ず何人かが手を挙げます。でも“楽器の演奏や歌うことが苦手”っていうんじゃなくて、“音楽



[レギオン]スペシャルバージョン

[レギオン]は発泡スチロール容器が大きければ大きいほど弾いた時の響きが深く・長くなるので、食品トレイよりも冷凍食品や鮮魚などが入っている発泡スチロール容器があればバージョンアップした音が楽しめます。ただ、一般的な輪ゴムは折径(二つ折りした長さ)が最大60mmなので、容器が大きくなると輪ゴムも大きくしなければならない場合も出てきます。そこでお勧めなのが百均ダイソーで販売されているワイドゴムバンドです。[幅3mm折径80mm100本]を始め、様々な種類があるので是非試してみてください。



【今後の活動予定など】

～ご参加などについては、本会事務局までご連絡ください～

★江古田の杜

6/20(日) 7/18(日) 8/15(日) 9/19(日)

おひさまリトミック 11:00～11:40

音の楽校 13:00～13:40

6/10(木) 7/ 8(木) 8/12(木) 9/ 9(木)

音遊び 11:00～11:40

★手作り楽器・音で遊ぼう! 8/7(土) 午後 武蔵村山市民会館

★夏の芸術教育学校 8/12(木) 13:45～15:45 中野サンプラザ

★自由連弾 8/13(金) 10:00～14:30 アートはるみ(東京都中央区)

■賛助会員を募集しています!

本会の活動は殆ど全て会員の皆様の会費で賄われています。本会の事業の趣旨に賛同し、ご支援していただける方は、是非賛助会員になってください。現会員の方は、お知り合いの方などにお声をおかけください。賛助会員になってくださる方(または誘ってくださった会員の方)は、まず下記の事務局までご連絡ください。

賛助会費は、年間3000円です。よろしくお願い致します。

< 振 込 先 >

① ◆三菱UFJ銀行 向島支店 ◆口座番号:普通 0088065

◆名義名:エヌピーオーハウジンオトラタノシムオンガクノカイ

② ◆ゆうちょ銀行 ◆口座記号:10090 口座番号:18396671

◆加入者名:トクヒ)オトラタノシムオンガクノカイ

NPO法人 「音」を「楽」しむONGAKUの会

〒131-0032 東京都墨田区東向島2-34-12 サニーフラット202号

PHONE & FAX: 03-3610-2292

E-mail otoiwase@oto.or.jp

URL: <http://www.oto.or.jp/>

facebook: <https://www.facebook.com/ototano/>